

2018年8月31日



『SDGs』の目標4と16に貢献します



全国のイトーヨーカ堂の店舗で9月3日(月)から

「インドにおける児童労働をなくす地域づくり」支援のためのレジ横基金を開始

株式会社イトーヨーカ堂(代表取締役社長:三枝 富博、以下:イトーヨーカ堂)は、2018年9月3日(月)~11月30日(金)の3か月間、全国のイトーヨーカ堂、ザ・プライス全店舗の会計レジにて「インドにおける児童労働をなくす地域づくり」プロジェクトのための募金を実施いたします。(セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く。)

このプロジェクトは、国連に公認・登録された公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンが実施している、国際的にも大きな社会問題となっているインド国内での児童労働について救出・保護・復学支援を目的に、お客様・従業員からの募金を呼びかけます。

インド国内では580万人の子どもたちが児童労働に従事させられている統計があります※。その中でも家事使用人は、身体的・精神的・性的虐待を受けやすく、国際労働機関によって「最悪の形態の児童労働」に分類されています。イトーヨーカ堂は、この課題に対し、救出・保護され、教育など心身の健全な発育のために必要なサービスを提供するための募金活動を実施いたします。

イトーヨーカ堂では、国内のGMS(総合スーパー)として初めて、全国のイトーヨーカ堂、ザ・プライスの全店舗の会計レジに募金箱を毎年設置し、年間を通じてお客様・従業員への募金を呼びかける活動をおこなっております。この募金は3か月単位で様々な社会課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

～お会計レジの募金箱で展開～

【レジの募金箱】



【店内ポスター】



【保護され、学校で学べることを喜ぶ子供たち】



イトーヨーカ堂は、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合い、今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

※出典:25 February 2015 SOUTH ASIA - Fact Sheet International Labour Office Children in labour and employment(PDF)

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社セブン&アイ・ホールディングス 広報センター TEL.03-6238-2446